

# 平成31年度当初予算が決定しました

## 一般会計予算 260億5,500万円

平成31年度の直方市の予算が3月定例会市議会で可決されました。一般会計と5つの特別会計を合わせた予算総額は399億4,388万9千円です。

### 平成31年度一般会計予算の主な事業 (単位:千円)

総務費		消防費	
・第6次直方市総合計画策定支援業務委託料	5,214	・住宅管理費(市営住宅改修工事等)	197,490
・自治組織活動交付金	16,782	・頓野住宅団地汚水処理場改修事業	49,103
・電子計算機費	204,121	・浄化槽設置整備事業費補助金	46,900
・福岡県防災・行政情報通信ネットワーク再整備事業負担金	9,482	<b>教育費</b>	
・県知事県議会議員一般選挙費	9,967	・消防庁舎屋根防水改修事業	16,720
・市長市議会議員一般選挙費	38,361	・消防車両整備事業(指揮車購入費)	8,000
・参議院議員通常選挙費	22,224	・消防団消防ポンプ自動車購入費	19,800
<b>民生費</b>		・消防団格納庫整備事業	49,826
・社会福祉協議会土地建物購入費	54,500	<b>教育費</b>	
・社会福祉協議会補助金	69,087	・私立幼稚園就園奨励費補助金	36,930
・国民健康保険特別会計繰出金	572,319	・一時預かり事業補助金(幼稚園型)	11,004
・介護保険特別会計繰出金	998,994	・幼稚園施設型給付費	79,482
・老人福祉施設扶助費	115,296	・認定こども園施設型給付費	36,026
・特別障がい者手当等給付費	29,100	・私立幼稚園外 無償化給付費	107,607
・重度障がい者医療費	204,800	・ハートフル奨学金	3,600
・ひとり親家庭等医療費	58,000	・小学校給食調理業務委託料	75,333
・子ども医療費	195,000	・小学校要保護及び準要保護扶助費	72,867
・更生医療費	230,000	・中学校給食調理配膳等業務委託料	65,755
・障がい者自立支援給付費	1,424,499	・中学校要保護及び準要保護扶助費	41,625
・障がい児通所給付費	361,872	・自治区公民館連合会補助金	5,183
・後期高齢者医療療養給付費負担金	842,693	・文化施設管理委託料	159,518
・後期高齢者医療特別会計繰出金	263,387	・ユメニティのおがた改修費	15,378
・新入小学童クラブ新築事業費	45,379	・史跡筑豊炭田遺跡群整備事業(保存活用計画策定委託料)	4,538
・学童保育所運営委託料	175,273	・デジタル記録作成委託料(石炭関連資料)	6,567
・子ども・子育て支援事業計画策定委託料	3,100	<b>公債費</b>	
・児童手当扶助費	963,705	・市債元利償還金	1,871,444
・児童扶養手当扶助費	428,046	<b>諸支出金</b>	
・保育所運営委託料	130,528	・水道事業会計補助金	5,883
・障がい児保育事業補助金	25,404	・下水道事業会計補助金	883,714
・保育体制強化事業補助金	15,120		
・児童福祉施設扶助費	1,509,607		
・認定こども園施設型給付費	106,922		
・認定こども園(保育)外無償化給付費	19,502		
・生活保護扶助費	3,031,128		
・妊婦健康診査委託料	37,651		
・こどもの定期予防接種委託料	96,151		
・がん検診委託料	28,435		
・個別予防接種委託料	41,831		
<b>衛生費</b>			
・ごみ処理費	662,054		
・ごみ処理施設費	110,295		
・し尿処理費	453,877		
・し尿処理場建設費(平成32年度までの継続事業)	1,959,793		
<b>農林水産業費</b>			
・農地費	134,809		
・農村環境整備事業費	22,500		
・土地開発公社土地購入費	23,814		
<b>商工費</b>			
・産業振興関連事業委託料	28,370		
・福智山ろく花公園管理委託料	17,700		
・観光物産振興協会負担金	6,800		
・プレミアム商品券発行事業費補助金	7,000		
・コミュニティバス運行業務委託料	20,634		
・路線バス維持負担金	16,018		
・平成筑豊鉄道経営安定化負担金	24,360		
・コミュニティ交通事業費補助金	5,339		
<b>土木費</b>			
・道路維持費	139,424		
・道路新設改良費	548,025		
・県営事業に伴う地元負担金(福地川改修事業)	20,606		
・砂防費	46,990		
・住宅リフォーム補助金	12,900		
・ブロック塀等撤去費補助金	2,180		
・国土調査費	33,447		
・下水路整備費	78,504		

**平成31年度一般会計当初予算内訳**

平成31年度当初予算は、この4月に行われた統一地方選挙での市長並びに市議会議員の改選に伴い、当初から計上する必要のある義務的経費や経常経費を中心として編成された骨格予算となっております。権限と責任を事業実施部門に委譲し、事業実施所管の視点に立った枠配分方式による予算編成を継続した上で前年度に引き続き枠配当額から4%削減することにより、効率的・効果的な財源配分による予算編成となっておりますが、本市の財政状況においては、市税収入等歳入における自主財源の確保は依然として厳しい状況であるといえます。その結果、予算上5億8330万円の財源不足が生じており、財政調整基金からの繰入れによって補っています。

予算の規模は、**一般会計では、260億5500万円(対前年度比:4.3%増)**です。

**歳入**

歳入は目的別経費と性質別経費に分けることができます。

(1) 目的別経費内訳とは

経費(歳出)を、使われる目的によって

- ▼民生費
- ▼衛生費
- ▼公債費
- ▼総務費
- ▼土木費
- ▼教育費

などに分類することができます。

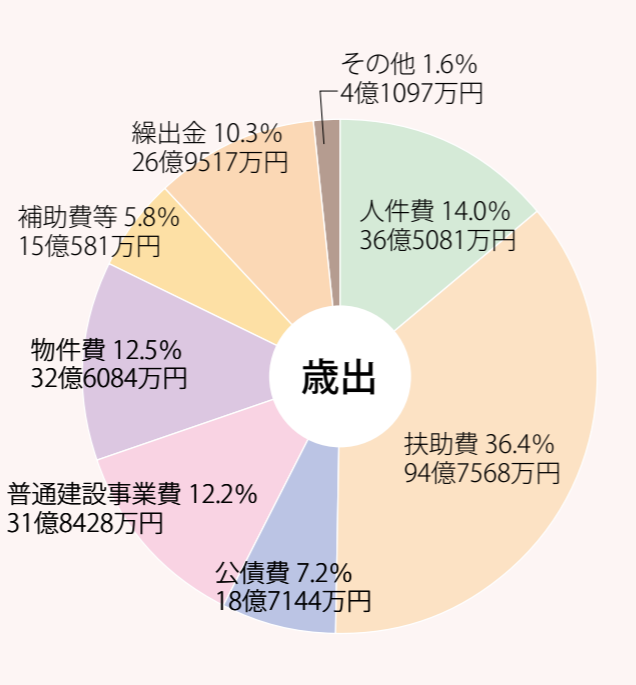
(2) 性質別経費内訳とは

経費(歳出)を

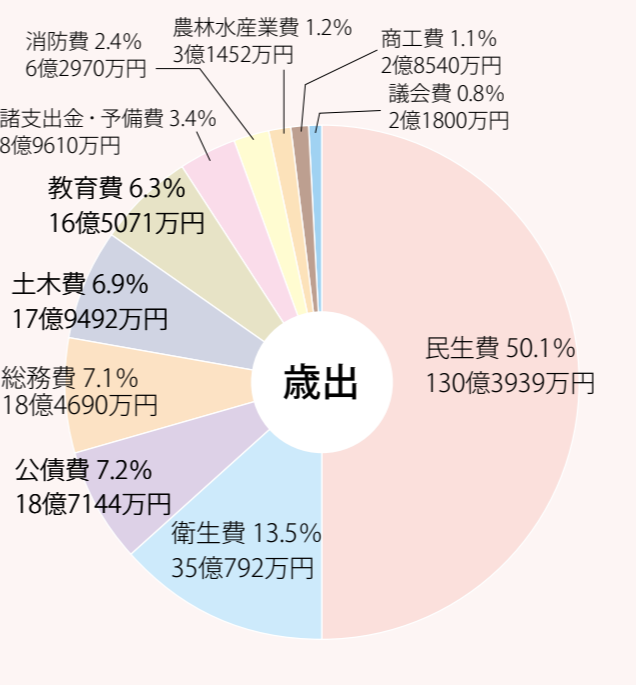
- ▼職員給与や議員報酬などの「人件費」
- ▼生活保護に要する経費、児童や高齢者・障がい者などのサービスに要する経費などの「扶助費」
- ▼市債の元金・利子の支払
- ▼道路・農業施設などの建設費や用地取得費など、社会資本形成のための「普通建設事業費」
- ▼備品・消耗品の購入費や機器の使用料、印刷製本費などの「物件費」
- ▼補助金や負担金、講習会の講師謝礼などの「補助費等」などに分類することができます。

さらに、人件費、扶助費、公債費を「義務的経費」、建設事業費などを「投資的経費」に分類することができます。

### 性質別経費内訳



### 目的別経費内訳



### 歳入内訳

